

【代表的な研究テーマ】

□ 性別・多様性に配慮した防災と災害対応の研究

□ 災害につよい社会・集団の研究

Keyword：災害時のニーズ、地域防災、性別、多様性

1) 性別・多様性に配慮した防災と災害対応の研究

東日本大震災以降、災害対応や防災の体制に男女共同参画と多様性配慮の視点が導入されるようになってきた。自主防災組織、避難所運営の備え、防災訓練などにおいて、具体的にどのような体制が有効か、被災地の支援状況などの調査に基づき研究している。



2) 災害につよい社会・集団についての研究

性別や年齢、障害の有無など、被災者がおかれた立場別に被害や復興の状況を把握し、被害の格差が生じた原因について研究している。研究の成果を、災害に強い社会づくりに反映することが目的である。

・特筆すべき研究ポイント：

- ◆自主防災組織、自治体職員、民間団体向けに、対象に応じて具体的な内容で「性別・多様性に配慮した防災と災害対応」の研修、女性防災リーダー研修を実施。その成果と課題について検証し、実地に活用できる体制を検討。
- ◆避難所運営ガイドラインや冊子類を住民（職員）参加型で一緒に作成。
- ◆このテーマで研修講師ができる人の養成（講師養成）も実施して、成果を検証。

・関連書籍等：

『男女共同参画・多様性配慮の視点で学ぶ防災ワークブック ～地域・支援団体に使える！基本知識の解説とワークショップ教材8』（減災と男女共同参画研修推進センター（2014年）



池田 恵子

学術院教育学領域
社会科教育系列
教授

■ 相談に応じられる関連分野

- ・性別や多様な人々の視点からの地域の防災体制づくり
- ・防災女性リーダー養成
- ・男女共同参画の促進

■ その他の社会連携活動

- ・静岡県「ふじのくに男女共同参画防災ネットワーク会議」アドバイザー（2012年1月～）
- ・佐賀県「男女共同参画の視点を取り入れた災害時避難所マニュアル 作成委員会」アドバイザー（2019年4月～）
- ・静岡市男女共同参画審議会 委員（2019年6月～）
- ・外務省「女性・平和・安全保障に関する行動計画 評価委員会」委員（2016年5月～）